

前回定例会（平成20年6月4日）以降の原子力安全・保安院の動き

平成20年7月2日
原子力安全・保安院
原子力安全地域広報官

1. 平成20年岩手・宮城内陸地震被害情報（6月14、15日）

原子力安全・保安院（以下、「保安院」）は平成20年6月14日岩手・宮城内陸地震発生後、6月14日、15日の両日に女川、福島第一、第二原子力発電所の状況につき、延べ11報のプレス発表を実施しました。また、政府調査団機で保安院加藤審議官他3名を現地に派遣しました。

2. 東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所2号機及び4号機の設備点検に係る妥当性確認の実施について（6月20日）

保安院は、柏崎刈羽原子力発電所2号機及び4号機の設備点検が本格的に実施されることとなったことから、立入検査、保安検査、定期検査等により、その妥当性を確認するための検査を開始しました。

3. 耐震安全性に関するIAEA国際ワークショップ（6月19～21日）

耐震安全性に関する各国における最新の情報及び知見の交換を行い、IAEAの耐震安全基準見直しに反映することを目的として、柏崎市で国際ワークショップが開催されました。来賓として、泉田新潟県知事、会田柏崎市長及び品田刈羽村長にご参加いただきました。

4. 柏崎刈羽原子力発電所6号機制御棒駆動機構と制御棒の結合不良について（6月27日）

保安院は、6月27日、東京電力株から、柏崎刈羽原子力発電所6号機における、制御棒駆動機構と制御棒の結合不良について報告を受けました。今後、原因究明及び再発防止策について、確認していきます。

5. 中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する調査・検討状況の住民説明会（6月28日）

保安院は、6月28日、刈羽村において中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する調査・検討状況の住民説明会（<http://www.hoanin-niigata-setsumeikai.jp/>）を開催しました。

<中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会調査・対策委員会の開催状況>

- 6月 5日 設備健全性評価サブワーキンググループ（第10回）
- 17日 地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループ（第11回）
- 24日 原子力防災小委員会火災防護ワーキンググループ（第2回）
（柏崎刈羽原子力防災センターにて開催）
- 27日 構造ワーキンググループ（第15回）
地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループ（第12回）

<設備点検に係る妥当性確認のための立入検査実績（6月5日～7月2日）>

6月11日、12日、13日、20日、24日、25日、7月1日、2日 計8回

以上

（参 考）原子力安全・保安院（<http://www.nisa.meti.go.jp/>）

これまでに得られた成果および今後について

<これまでに得られた成果>

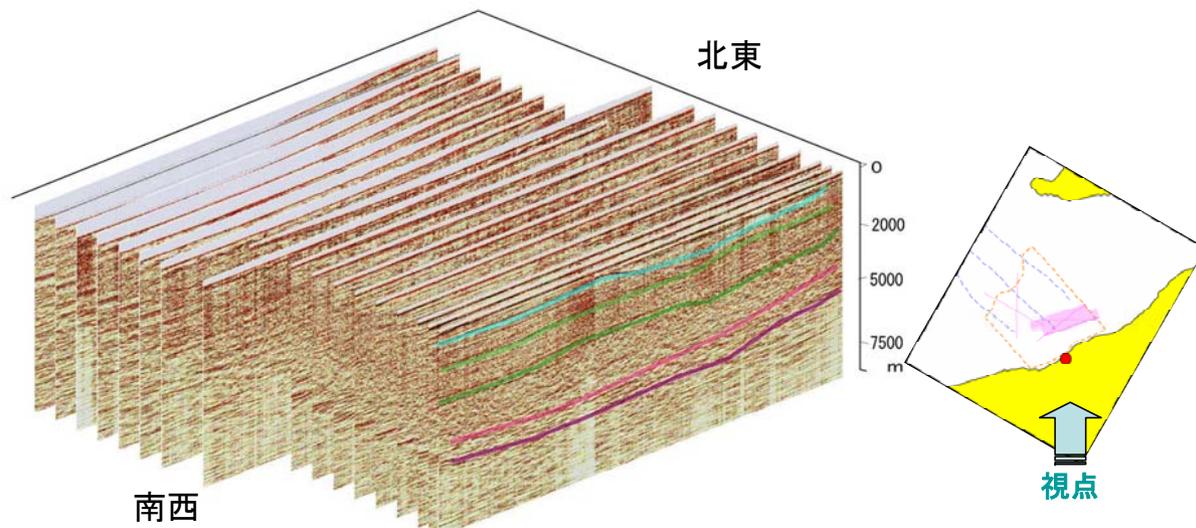
- 東京電力等の調査では深さ2~3km程度のところまでしか確認できなかった沿岸域の地下構造が、深さ5~6km程度まで明らかになった
- 伏在逆断層をともなう背斜構造が確認できた
- 測線間隔が約150~300mと狭く、立体表示が可能になった
- 本調査の目的である地質構造等の分析に必要なデータが取得できた

<今後の作業内容>

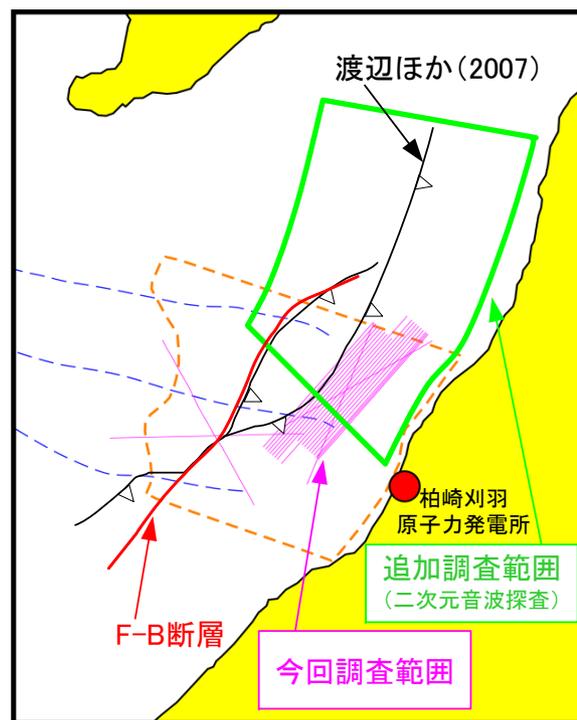
- 音波探査結果の立体表示をもとに、地質構造や断層の詳細解釈を行い、震源付近の地質構造等を空間的に詳細に把握する

<二次元音波探査による追加調査>

- 既存調査では、F-B褶曲群の北方において活断層は確認されていないが、原子力安全・保安院としても、念のためその妥当性を確認する観点から、二次元の音波探査を実施する
- 具体的な調査測線については現在検討中



海上音波探査結果の立体表示の例



計画中の追加調査(二次元海上音波探査(緑枠))